

「ジャグラーの電波ゴト発生!!」なる情報が飛び込んできた。第一報は11月だったが、12月になり頻繁に飛び込んで来るようになった。果たしてその真相は……?

前号では「次号では防犯カメラについて書かせて貰おう」「斬、耕平が斬る!」

年末も押し迫った11月末頃、

「電波感知器が反応し、その台に座っていた客が逃げて行ったんですが、これは電波ゴトでしょうか?」という相談が会員様から寄せられた。

電波感知器の誤作動はよくある事だし、何かわからないゴトだと「電波では?」となるのもよくある事だ。

しかし12月になると「不審な客がいたので近づくと、メダルを置いて逃げて行った」「点検したがシヨート系の傷や穴開けは無かった」等の連絡

が相次いだ。

「アイムジャグラーEX」だ。さらには「ミラクルジャグラー」からも同様の報告が上がっていることから、ジャグラー全般のゴトかもしれない。

注…このコラムを書いている1月24日時点では、詳細が掴みきれず、あくまでも憶測である。

なぜ今更Aタイプを……

タイプがどうかではなく、大当たりの生成がどうなっているのが問題だ。シンプル

るだろう。私の講演会を思い出して欲しい。「ゴト師を見つけてるのは嗅覚だ」と言った事を。

弊社の社員ですら経験が浅いと、ホール内を見回す時、どうしてもメダルが多く出ている、なりが怪しい等を基準としがちだから、巡回するの

に時間がかかる。私はあつという間だ。誰が臭うかだけを感しているのだから。まあ社員が一回り1時間かかることを、私なら15分で済ませて

なタイムテーブル方式、いわゆるルーレット方式になっていて、体感器と連動させれば

大当たりを直撃出来るかもしれない。

昔は解析を行えば、この様な仕組みは直ぐに分かったものだが、昨今予備の台を店が持てなくなったこともあり、解析に回す事が出来ず、残念ながらゴト師の「後塵を拝する」ばかりである。

それでも全国の会員様からの情報や独自ルート等から、それ程ゴト師に負けないスビ

しまう。

同じくゴト師達にも同様な嗅覚を身につけている輩がいる。そして他のグループのゴト師を見つけると、とっ捕まえて閉め出す、さらにはセツト打ちを行っているならそのやり方を聞き出し、裏口ムの入った台を奪ってしまう、泥棒から泥棒をする?とんでもない輩達だ。

だから臭いを出さない、その事に相当気をつけている。もしバレたら、その後のゴト活動も出来なくなるどころか殺されてしまう危険性さえ持っている。だから絶対に捕まる事を許されない、だから発覚が遅れる。

なぜ急に事件が……

おそらく「アイムジャグラーEX」の認定切れに伴い、稼げるときに稼いでおこうと、それまで秘密裏に動いていた開発グループが自分達でも稼ぐのは勿論、一斉にネタを売りに出したのではないだろうか。ネタにもより値段が違うのは当たり前。意外にもコピーられる事が簡単なピアノ線等は、たったあんなものでも「数百万円」で初回は売りに出さ

ードで対策を行っているという負している。

おっと、これは自慢しているわけではない。逆に自虐的表現なのだ。何故なら、今回の電波ゴトが事実ならば、発覚する随分以前から行われていた事は間違いない。つまり、ゴト師達の中でもゴトネタ開発クラスとなると、その台が世の中に出て来たタイミングからネタも出来ていた可能性が、大、なのだ。

ゴトの出来ない台は無いと豪語しているゴト師もいる。

れる。それを買った奴等が他のグループや、自分たちの手駒に買わせる時に数十万円となり、さらにある程度稼ぐと末端のゴト師に数万円で出回る。追記しておくが、この値は、子、ではなく、親、の値である。

電波ゴトは、そのハイテクさとは裏腹に、一機150〜200万円程が相場となっていて、もちろん稼ぎやすい台つまり導入が多い、人気がある、波が激しい等でも相場は上がる。

電波ゴトはコピーが辛い事は先に述べた。つまり、これを買って稼ごうという奴等は、1人につき一台が必要になってしまふのだ。

発表即売会!?

売り元は凄く売上になる。「パッカン」の始めは、上野の有るホテルの会場で発表会

「数あるゴトの中で何が一番儲かるか」これが全てである。生活なのだから、儲かりもしない台に一生涯懸命意地になる必要性等ない。シヨート系を一生懸命やっている奴は、それが「今、一番儲かる」からやっている。だが、先の開発クラスになると、「完成すれば恐ろしい程に儲かるが、それ故、絶対にバレてはいけない」エリア制を引き、どの地区は誰のチームが何人で、どの程度の稼ぎをしたらどこへ移動するか、相当厳しい掟の元に管理をしている。

雨後の筍……

シヨート系のゴトは、どの台のどこをシヨートさせれば出来るかが分かってしまえば、『雨後の筍』の様にゴト師が湧く様にして現れる。

だが電波ゴトは、発信器を持っていなければゴトが行えない。そして、それを手に入れたら、そう容易くコピーを作る事も出来ない。仕組みが分かったので、一から作り始める、それが精一杯と言ったところだろうか。つまり、ゴト師達にとって

が行われ、無造作に紙袋を売り元に渡し、10個買って行ったヤクザがいた。その紙袋にはなんと「1500万円」が入っていた!

もしかして今回のジャグラー電波発信器も、年末に全国のどこかで発表即売会が行われたのかもしれない。だから年明けに一斉に事件が起き、これでは元を取る前に対策をされてしまふと、今は規制されている、という状態ではないだろうか。

もちろん私の勝手なる推測なのだから、信じるも信じないも貴方次第、と言う事。

もしかしてこの号が発売になった頃には、既に全貌が明らかになっているかもしれない。是非そうあって貰いたいものだが……。次号はその行方を見てから、斬らして頂こう。



発表即売会!?



なかの こうへい
1957年高知県出身。大手OA機器販売メーカー・大手建設会社などの勤務経験の後、パチンコ業界に入る。その後、三十年以上にわたり、パチンコ業界の全てを研究しつつ、各遊技業協同組合でも不正防止講演会に講師として参加するなど、不正防止の知識を広く伝えるべく活動を行っている。



記事に関するお問い合わせはA・P総研まで Tel.03-3202-0971